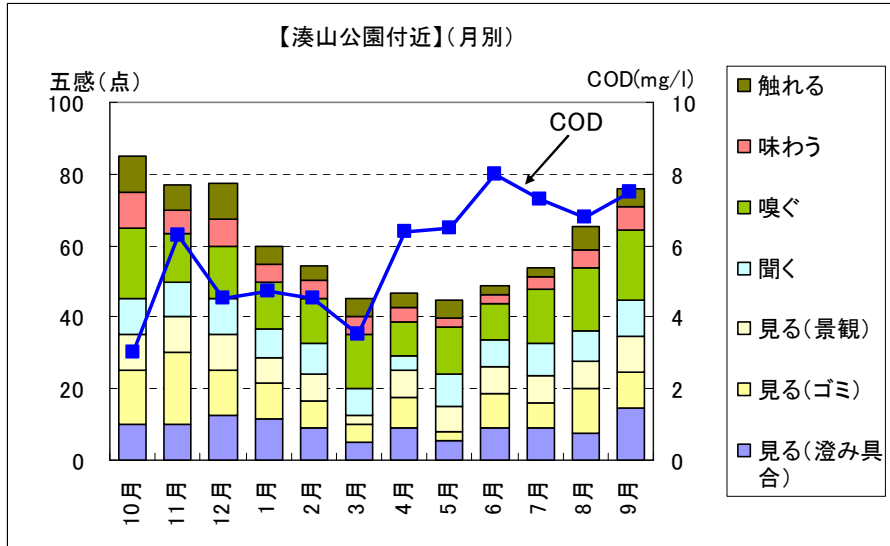
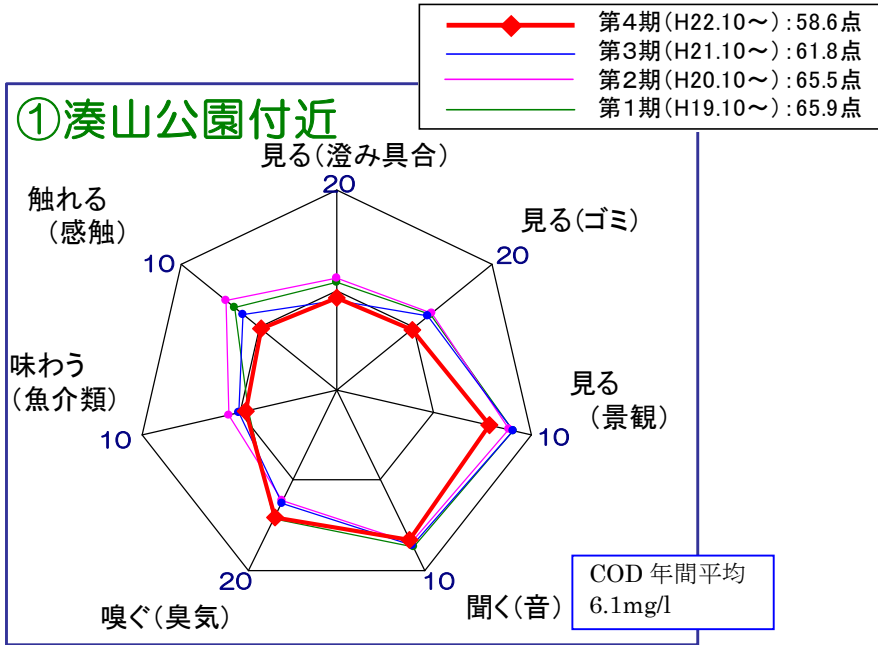


第4期 中海湖沼環境モニターの調査結果(地点別)

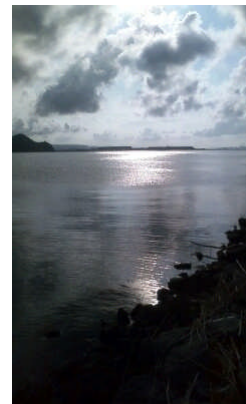
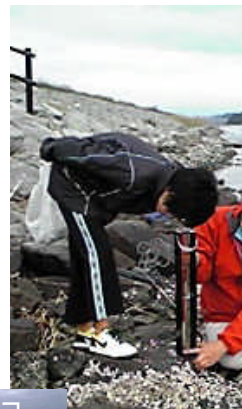
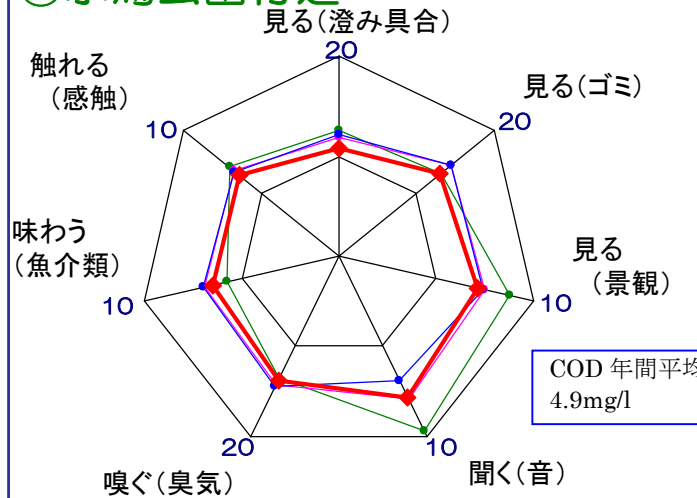


モニター感想・気づいた点(※書いていただいた中のほんの一部です)

- 【10月】枯れ葉は紅葉し、水面を波と戯れて情趣があった。
- 【11月】鳥が多く見られてうれしい。
- 【12月】カモの大群が空を舞ったり水面を泳いだり楽しかった。
- 【1月】湖水は濁った深緑色で汚い。カモの群れがいて、気持ちはやわらいだ。
- 【2月】大雪の後の倒木がすさまじい。1ヶ月に一度だけ中海と対話しているが、風情があるのか、毎月いろいろな表情を見せてくれる。
- 【3月】湖水は相変わらず汚く、泥水のように見える。先月いたカモの群れはいなくなった。
- 【4月】ハクチョウが1羽、カモと思われる鳥があちこちにいた。城山の下には青い藻がたくさん浅瀬に生えていたが、CODは悪い。新加茂川の水が汚れているせいでうか。
- 【5月】ごみが多く、水も汚れていた。
- 【6月】雨上がりで湖水は茶色く濁っていた。CODが初めて8mg/L以上になった。
- 【7月】台風の後のためか湖水は汚れた深緑色をしていた。波音と虫の音の自然界の二重奏だった。冬の豪雪の傷跡を木々が生い茂って少し目立たなくなってきた。
- 【8月】たくさんごみが石積護岸に打ち寄せられていた。夕日の中海はきれいだった。
- 【9月】公園前の湖水は今までで最もきれいに見えたがCODは良くない、なぜなのか知りたい。湖水の濁りはあるものの、波が穏やかに紋様を描いていて心安らくひとときだった。

②水鳥公園付近

◆	第4期(H22.10～)	65.4点
—	第3期(H21.10～)	69.2点
—	第2期(H20.10～)	69.6点
—	第1期(H19.10～)	70.5点

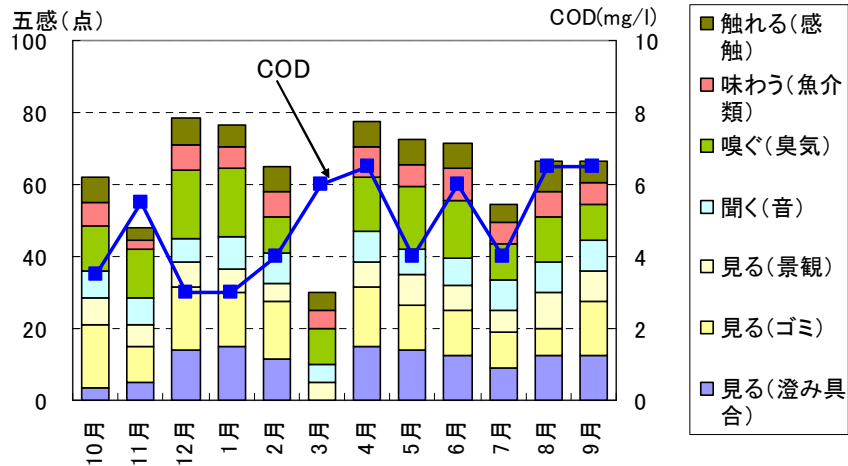


11月、アオコ
うわっ、緑色だ！



(写真：モニターさん提供)

【水鳥公園付近】(月別)



モニター感想・気づいた点(※書いていただいた中のほんの一部です)

【11月】夕日の赤(めっちゃキレイ)、海の青(ふつ)、アオコの緑(いらない)。カモがたくさんいた(オナガガモ、キンクロハジロなど)。

【12月】オジロワシが飛んでいた。

【2月】ホシハジロ、オナガガモ、ヒドリガモなどカモがたくさんいた。北に帰る前で、写真家の人がたくさん来ていた。

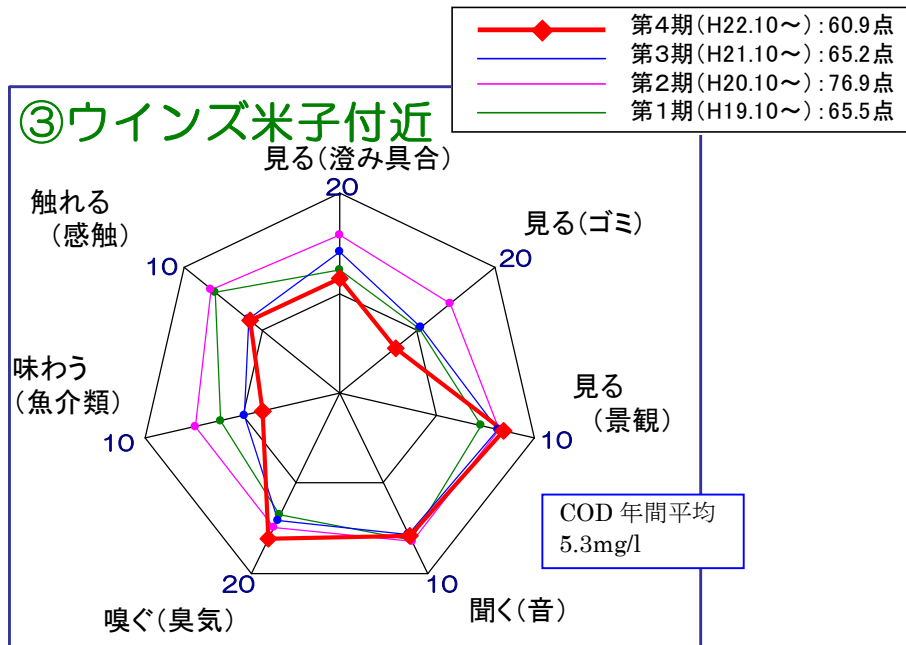
【4月】透明度を測った。水がきれいだった。

【7月】クラゲがいた(ミズクラゲ?)。魚がはねた(ボラ?)。

【8月】水が透けている(中海側)。藻が多かった(彦名東橋)。

【9月】アオコがたくさんいた。ガスっぽいにおいがした。

③ウインズ米子付近



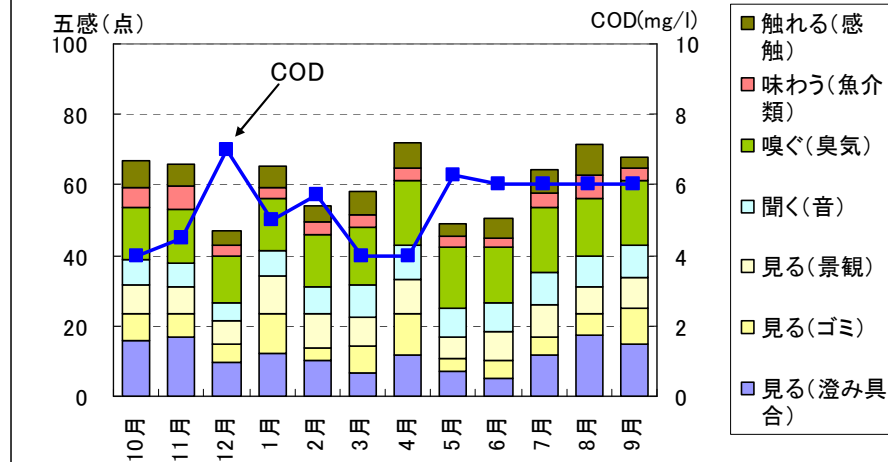
護岸にごみや枯れたヨシが大量に漂着 (2月)



モニター感想・気づいた点(※書いていただいた中のほんの一部です)

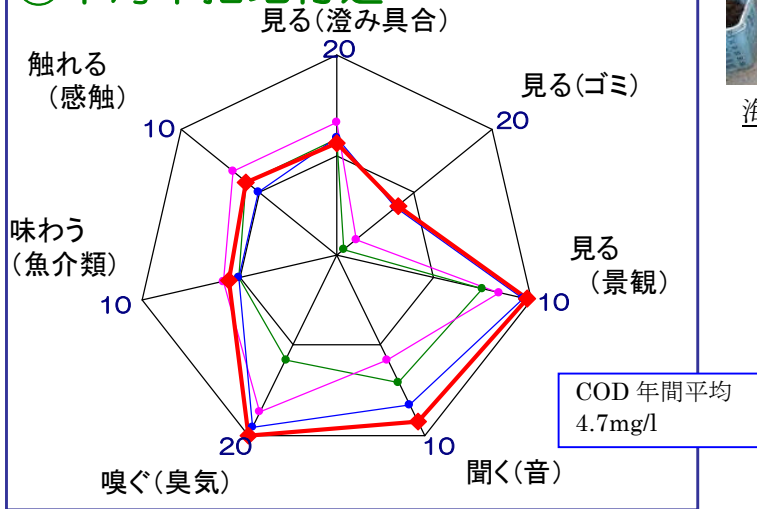
- 【10月】大山初冠雪。夕日がきれい。透明度は良い。護岸に打ち上げられたゴミが目立つが海中にはない。
- 【12月】工事のためクレーン船が作業して騒音あり。初めて長く濁るのを感じた。アオコが長く続く。これまでで一番ゴミが多く、色とりどりのプラスチック容器が多い。
- 【1月】こんなに水が濁っているのは見たことがない。漂着ゴミがとても多い(ヨシ(アシ)が50%、プラスチック類40%、廃材5%、ビン類5%)。
- 【2月】護岸に打ち上げられたゴミがたくさんあり、ゴミ捨て場の感がある。水鳥がたくさんいた。雲間から射す太陽の光線が美しい。
- 【3月】快晴で気持ちの良い海岸だったが、湖水は濁っている。上空ではヒバリの鳴き声が気持ちいい。安来の風力発電のプロペラがゆっくり回転している。漂着ゴミが多い(95%は枯れたヨシ(アシ))。
- 【4月】大山が残雪で美しい。
- 【5月】ヨシ(アシ)が大量に漂着していた。
- 【6月】景観は幻想的に感じたが、水は濁り、ゴミは散乱していた。
- 【7月】漂着ゴミが多い。工事の船のエンジン音が聞こえていた。藻が大量に発生し、海面に浮かんでいる。鳥の声で心がなごむ。
- 【8月】秋の虫の鳴き声が気持ち良い。まだツバメが数羽いた。ボラが跳ねている。藻が大量に発生している。ゴズがない。大山がくっきり見える。
- 【9月】流木、缶・ビン・ボトル、竹や松葉のゴミ類が多い。アオコが発生していた。岸沿いに白い泡が所々で見られた。

【ウインズ米子付近】(月別)

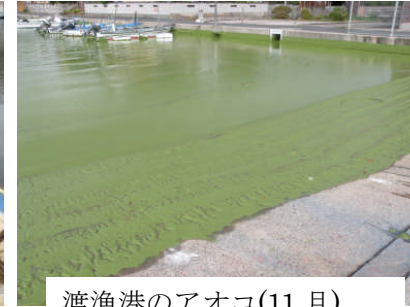


第4期(H22.10～): 69.3点
 第3期(H21.10～): 66.3点
 第2期(H20.10～): 60.0点
 第1期(H19.10～): 49.6点

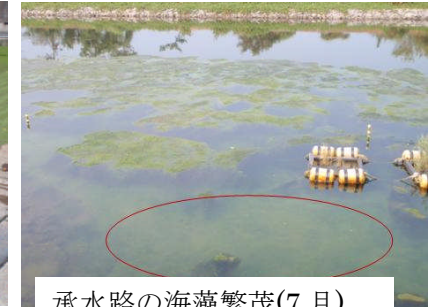
④中海干拓地付近



海藻回収(10月)



渡漁港のアオコ(11月)



承水路の海藻繁茂(7月)

(写真: モニターさん提供)

モニター感想・気づいた点(※書いていただいた中のほんの一部です)

【10月】干拓地周辺一帯の海藻発生調査を行った。干拓地西岸には40cm程に成長したオゴノリが大量に発生していた。アサリの稚貝が大量に発生していることから枯れるまでに全量回収したい。

【11月】アオコは少しずつ減り始めたが、水中は混濁したアオコで透視度は低い。

【12月】今月になっても、まれにアオコが流れていた。この時期に湖水が澄むことがない年は調査を始めてから初めてのこと。

【1月】前月は湖底が見える日が一日もなかったが、1月下旬になって少しずつ湖水がきれいになり、久しぶりに湖底が見えた。

【2月】岩場の海藻が白化していた。

【3月】2月下旬に降った雨で濁った湖水の透明度が低い。

【4月】湖水がかなりきれいになってきた。しかし、岩に付く海藻はほとんど枯れ、いつもの年より大幅に少ない。

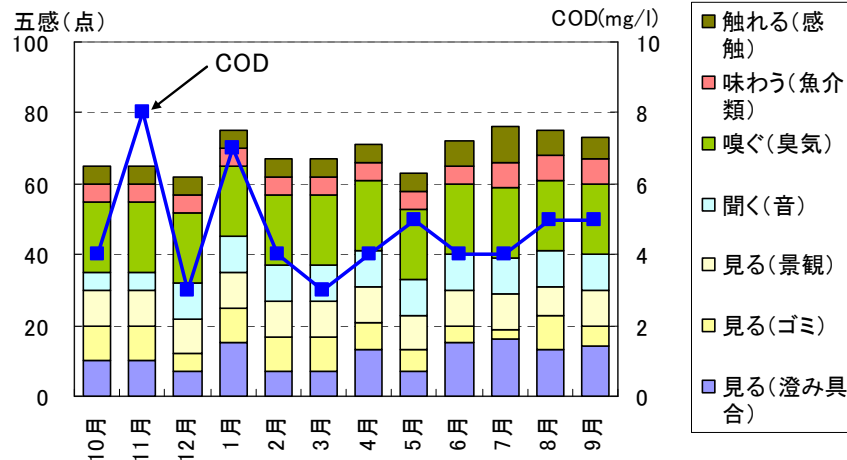
【6月】例年この時期に多く発生する海藻がわずかしか見られないが、透明度が増してきたことから、さらなる水質浄化のためにも海藻の発生が待たれる。

【7月】湖水も透明度を増し、霞たなびく景色も非常に良くなってきた。今月に入り弓浜承水路には大量の海藻(アオノリ・シオグサ)が発生してきた。

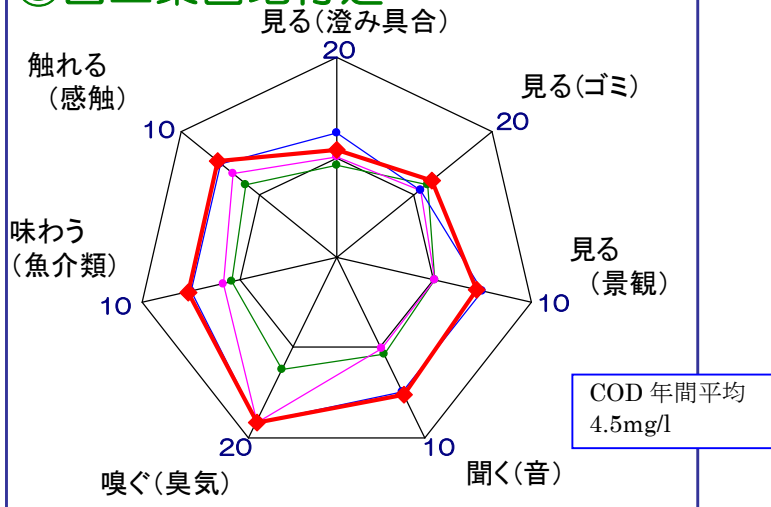
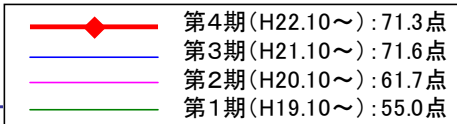
【8月】昨日までアオコがかなり海水に混濁しており透明度も1mを切る程度であったが、今日は全く見られず湖水はきれいだ。

【9月】アオコが浮遊し水も混濁。海岸にゴミが堆積し始めた。西風の時期の到来である。(古タイヤ、ペットボトル、材木片、発泡スチロール、ビニール製かご等々)

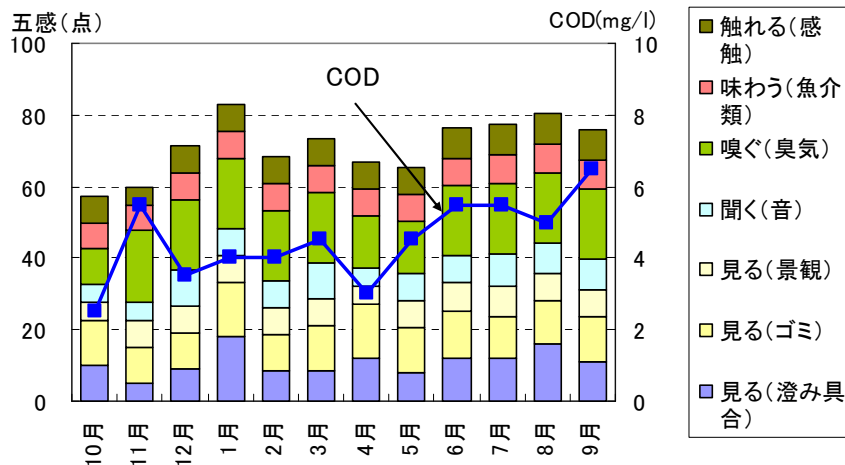
【中海干拓地付近】(月別)



⑤西工業団地付近



【西工業団地付近】(月別)



モニター感想・気づいた点(※書いていただいた中のほんの一部です)

- 【11月】アオコがかなり浮いていた。水面のアオコは減少しても水中にはかなり多く混濁しており湖底を確認することができない。
- 【12月】快晴で暖かく、釣り船多数。セイゴとアジが少し釣れたが、12月に入ってもセイゴ、アジが釣れるのは近年ないことのようなのである。
- 【1月】ここ半年の調査では湖水が最もきれいだった。(秋はアオコだった)
- 【2月】中海干拓地と同じく、こちらも湖水はかなり濁っていた。
- 【3月】例年この場所にたくさん発生するアマモの芽が出てこない。ウミトラノオの成長も異常と思えるほど悪く、枯れかかっているものが多い。比較的水深の浅い所では冬場の低水温と海藻の成長には因果関係があるように思う。
- 【4月】湖水はかなりきれいで湖底が見えた。しかし、この場所では例年のこの時期には50cm程に伸びたアマモがあるはずであるが今年は確認できない。
- 【5月】雨による陸からの流入で湖水が茶色く濁りがひどい。
- 【6月】型の良いアジが釣れている。例年大量に発生するアマモが今年はわずかであり、冬の大雪による水温低下が海藻(海草)にかなり影響したと思われる。
- 【7月】湖水がやっときれいになってきた。しかし、毎年大量に発生するアマモは今年この場所には発生が見られなかった。
- 【7月】イルカが同じ場所を10分くらい回っていた。
- 【8月】エノハ(ヒイラギ)やタコが釣れている。昨日まであったアオコが今日は全く見られない、なぜ一日でこれほどきれいになるのかメカニズムがわからない。
- 【9月】岸辺にイワシの大群が泳いでいた。アオコのせいか水中の浮遊物が非常に多い。大雨の後で塩分濃度が低いが、魚には影響がないようで4~5日前からチヌ、ヒイラギ、アジ等が大量に釣れ出した。